

2015年

長崎の1年を振り返る

2015年は、「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産への登録、被爆70周年を迎えての積極的な平和の発信など、長崎にとって大きな節目となる1年でした。2015年の長崎の主な出来事を振り返ってみましょう！



▲ 鎖国時代、出島とともに海外交流の窓口であった唐人屋敷地区の入り口に、シンボルとなる大門が完成



▲ おヒゲがチャーミングなヒゲペンギン

長崎の皆さん
よろしくね！

1月

- 4日 支所のできる手続の拡充（国民健康保険の高額療養費の支給や障害者手帳の交付の申請など）
- 7日 消防出初式
- 11日 成人式

2月

- 19日 長崎ランタンフェスティバル（～3月5日）

3月

- 2日 節分行事「手熊・柿泊のモットモ」が国選択無形民俗文化財に
- 19日 長崎ペンギン水族館に「ヒゲペンギン」が仲間入りし、飼育種が世界最多の9種に【①】
- 23日 唐人屋敷象徴門（大門）完成【②】
- 31日 長崎市公会堂が閉館
- 31日 神浦中学校が閉校

4月

- 1日 唐人屋敷地区内に「蔵の資料館」開館
- 25日 長崎帆船まつり（～29日）
- 26日 田上富久市長の3期目スタート

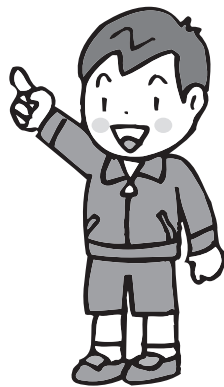
5月

- 1日 ニューヨーク国連本部で開催された核不拡散条約（NPT）再検討会議で、田上市長が核兵器廃絶を訴える

▶ 世界子ども平和
▼ 会議では、「未来の地球のために何をするか」をテーマに、英語で意見交換を行いました。



2015年の出来事
まだまだあるよ!!



▼ グラバー園内の伝統芸能館で開催されたパブリックビューイングには、多くの市民が集まり、世界遺産決定の瞬間に立ち会いました。



「産業革命遺産」構成資産の一つ
端島炭坑(軍艦島)



▲ 田上市長による長崎平和宣言のほか、城山小学校や純心女子高等学校の皆さんによる合唱などが行われ、原爆犠牲者の追悼と恒久平和を願いました。

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <p>29日 長崎ふるさと大使である福山雅治さんが稲佐山公園でコンサート(〜30日)</p> <p>20日 田上市長や毎熊市議会議長をはじめとする長崎市公式訪問団がセントポール市を訪問(〜25日)</p> <p>9日 被爆70周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典を開催(⑦)</p> | <p>8月</p> <p>5日 世界122の国と地域の子どもたちと長崎や福島の中学生たちが、交流しながら平和について語り合う「世界子ども平和会議」を開催(〜6日)(⑤・⑥)</p> | <p>25日 ながさきみなとまつり</p> <p>5日 「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産への登録が決定(③・④)</p> <p>2日 イギリス・スコットランド国際開発庁の出先事務所「スコットランドハウス」が、市内に開設</p> | <p>7月</p> <p>24日 姉妹都市提携60周年を迎えたアメリカ・セントポール市から、市民訪問団が来崎(〜28日)</p> | <p>27日 「ねんりんピック長崎2016長崎市実行委員会」設立</p> <p>4日 ユネスコ(国連の機関)の諮問機関イコモスが「明治日本の産業革命遺産」を世界文化遺産登録にふさわしいと勧告</p> |
|--|---|---|---|---|



▲パグウォッシュ会議は、「長崎を最後の被爆地に」と訴え、核兵器保有国に廃絶の確約を迫り、世界の国々と市民社会などが連携して核兵器の法的禁止を目指すよう求める「長崎宣言」を発表し、閉幕しました。



▲龍踊（諏訪町）など7カ町の演し物が奉納され、町中が熱気に包まれました。



▲「クァンタム・オブ・ザ・シーズ (168,666 トン)」をはじめ国際クルーズ客船が次々と寄港し、長崎のまちは外国人観光客で大いににぎわいました。

※国際クルーズ客船入港数が過去最高(約130隻)に(10)

12月

1日 「長崎市よかまちづくり基本条例」施行

11月

1日 世界中の科学者などが集まり核軍縮や平和について話し合う「パグウォッシュ会議世界大会」が長崎で初開催(～5日)【9】

3日 長崎歴史文化博物館開館10周年

7日 市立長崎商業高校の創立130周年記念式典

15日 中央卸売市場で「開設40周年記念 市民大感謝祭 祭果まつり」を開催

10月

6日 セントポール市から、クリス・コールマン市長をはじめとする公式訪問団が来崎(～9日)

7日 長崎くんち(～9日)【8】

9日 長崎市が「日本新三大夜景都市」に選定される

27日 住み慣れた地域で安心して暮らせるしくみを話し合う「長崎市地域包括ケア推進協議会」設立

29日 長崎の歴史を気軽に学べる初心者向け講座「ながさき歴史の学校」開校

9月

27日 ねんりんピック長崎2016長崎市健康マージャン交流大会リハーサル大会を開催

29日 世界遺産候補である「長崎の教会群」の保全状況などを調べるため、ユネスコの諮問機関イコモスの調査官が市内を現地調査



2016年は どんな年？

2つの世界遺産があるまちへ



「長崎の教会群」
構成資産の一つ
大浦天主堂と
関連施設

昨年のイコモスの調査結果をもとに、ユネスコの世界遺産委員会で、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産への登録の可否について審議が行われます。「登録が適当である」と判断されれば、世界遺産への登録が正式に決定します。

昨年登録された「産業革命遺産」と合わせ「2つの世界遺産があるまち」の実現が、もうそこまで来ています。

つながる出島

出島の中央部分に、商館員の住まいだった筆者蘭人部屋や輸出品だった銅を保管していた銅蔵など6棟の復元建造物が10月に完成する予定です。「世界の都市とつながっていた出島」をテーマに、新しい展示も登場します。

さらに、2017年には“出島表門橋”で出島とまちが繋がります。



出島復元建造物6棟の完成イメージ図

環境への負荷を減らす

神ノ島町で建設している新しいごみ焼却施設である新西工場が完成します。新西工場の完成に伴い、7月からごみの分別方法が変わります。

これまで「燃やせないごみ」として埋め立て処分を行っていたプラスチック製品・ゴム製品・革製品を「燃やせるごみ」へと区分を変更し、焼却処理します。これにより、従来よりも埋め立て処分するごみの量が減少し、埋立処分場を長く使うことが可能となります。

※プラスチック製容器包装の分別は継続しますのでご注意ください。



新西工場の完成イメージ図

世代を超えて交流を深める

60歳以上のかたを中心とした健康と福祉の祭典「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」が、10月に長崎県で初めて開催されます。

長崎市では、「ソフトテニス」「ゴルフ」「水泳」「グラウンド・ゴルフ」「健康マージャン」の5種目の交流大会のほか、子どもから高齢者までのあらゆる世代の方々が交流を深めることができる「ふれあいニュースポーツ」など、さまざまなイベントが開催されます。



昨年の健康マージャン交流大会
リハーサル大会の様子

どんな1年になるのか楽しみだね!!

